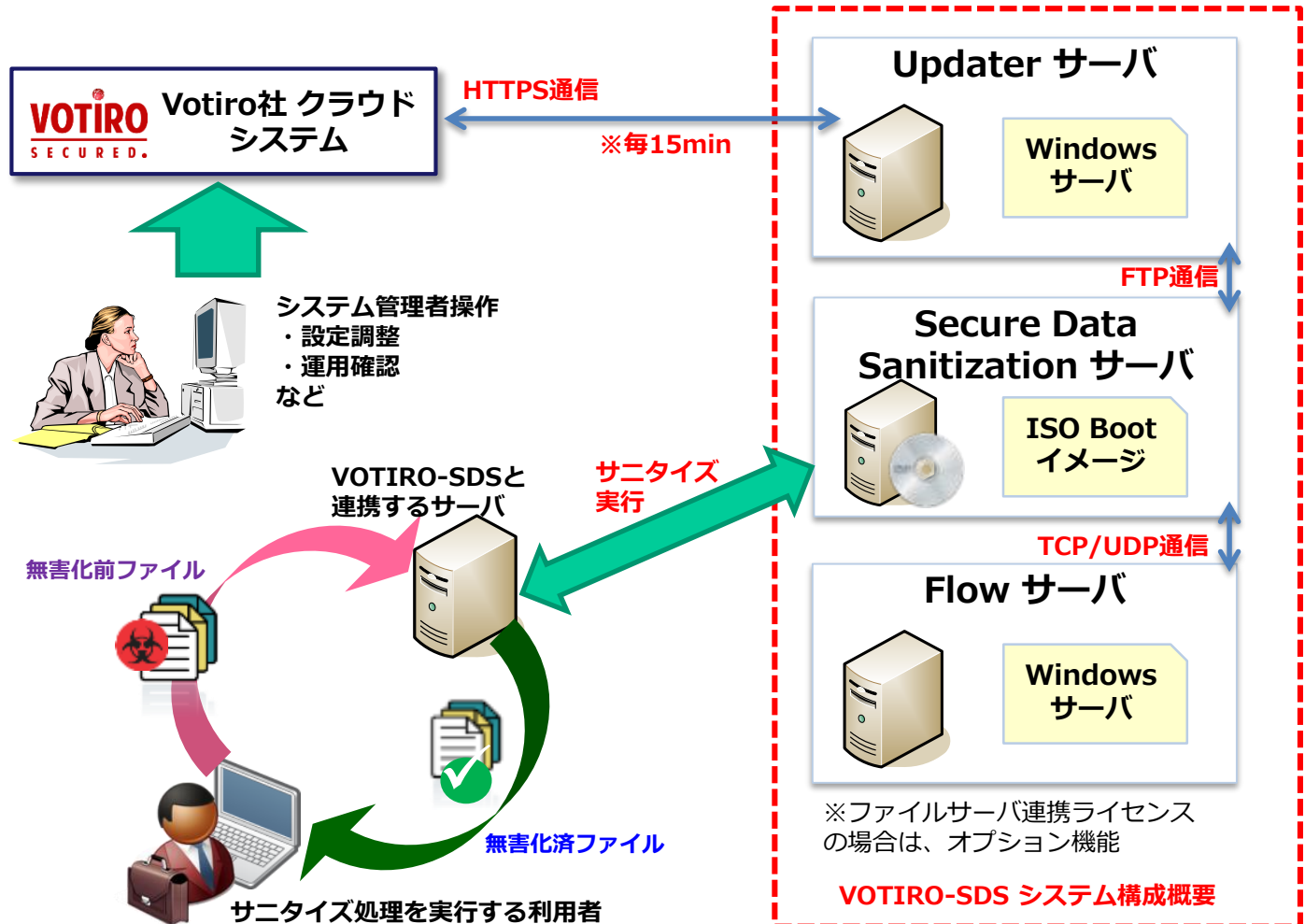




Secure Data Sanitization 搭載済サーバモデル

VOTIRO Secure Data Sanitization (SDS)製品は、「安全が不明確な電子データファイル」を、搭載する機能により安全化したファイルで出力します。このファイルは「Sanitize(消毒済)データファイル」と呼ばれます。VOTIRO-SDS製品が処理した電子データファイルは、安全なデータファイルとして高いセキュリティが求められるネットワーク環境において利用することが出来ます。



◆ Secure Data Sanitization Automatic Engine (SDS File AE)[ファイルサーバ連携] 機能

・VOTIRO社クラウド：

世界中で稼働している Updatertサーバと通信(毎15min)し、新しい情報の収集と改善を情報を発信している。Secure Data Sanitization(SDS)サーバが動作するための情報を取得する。VOTIRO-SDSを運用するシステム管理者は、VOTIRO社クラウドにアクセスし、運用のために用意された管理者画面を利用する。

・Updaterサーバ：

以下の情報を取得し、SDSサーバに提供する

※SDSエンジンの最新アップデート ※ライセンス情報 ※最新のアンチウイルスシグネチャ(モデルによっては搭載できません) Windows Server 2012 R2 にて構築。SDSサーバが「サニタイズ処理」を正しく実行するための情報を提供する。

・Secure Data Sanitization(SDS)サーバ：

複数のアンチウイルスエンジンとSDSエンジンを利用してネットワークに入ってくるファイルをサニタイズする。ISOイメージファイルとして提供されDVDまたは仮想環境(推奨。VMwareまたはHyper-V)起動。

・Flowサーバ：

SDS サーバによって処理されるメールやファイル※のオリジナル版を保存するための専用サーバ。

管理者はこのサーバよりサニタイズ前のファイルやメールを配信することができるMicrosoft SQL Serverが必要、認証サーバとして、Active Directoryのドメインコントローラが必要 本サーバ機能はオプションとなります。モデルによっては搭載できない場合もあります。

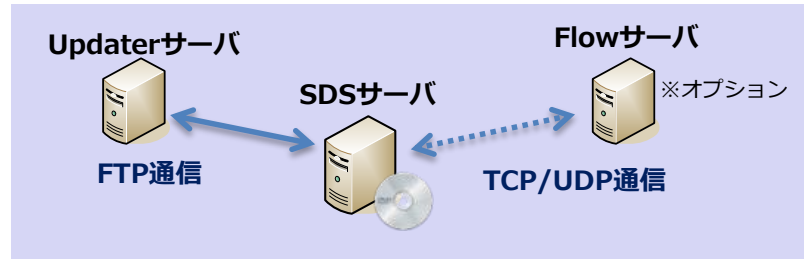


※SDS for E-mail(SDS Email)[メール連携機能]、SDS Web Service(SDS Web Service)は搭載できません。

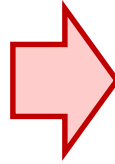
自治体様向けの専用モデルとなります。自治体様以外のお客様には導入できません。

VOTIRO-SDS 自治体向け搭載済サーバ 実装概要

【VOTIRO-SDS File AE システム搭載】



【VOTIRO-SDSシステム搭載済サーバ】



VOTIRO-SDS 自治体専用M7型(型名: SWSVOT07)

※Small版: 自治体専用STD型(型名: SWSVOTST)

・VOTIRO-SDS File AE 【ファイルサーバー連携版】を搭載

・「SDS Station」、「Updater Server」、「Flow Server」を搭載

※Flow Server 搭載には条件があります。

VOTIRO-SDS 自治体向け搭載済専用サーバ仕様

No	項目	詳細	外観
1	サーバ名	VOTIRO-SDS専用M7型(型名: SWSVOT07) ※Small版: 専用STD型(型名: SWSVOTST)	  Supermicro Server-Base オリジナルカスタムサーバ
2	本体サイズ(mm) 幅x高さx奥行	437 x 43 x 650 (1U)	
3	重量	16.33kg (HDD無)	
4	CPU	Intel Xeon E5-1650 v4 3.5GHz 6Core ※Small版: Intel Xeon E3-1225 v5 3.3GHz 4Core	
5	メモリ	16GB DDR4 ECC RDIMM x 4 64GB ※Small版: 16GB DDR4 ECC UDIMM x 2 32GB	
6	VGA	OnBoard	
7	HDD	1TB SAS3 x 4 (RAID6 2TB)	
8	RAID	Supermicro AOC-S3108L-H8iR	
9	DOM	16GB SATA DOM	
10	NIC	Intel i350-AM2 Dual Port Gigabit Ethernet	
11	FDD/DVD/CD-ROM	None	
12	IPMI	OnBoard with KVM	
13	電力	500w x2ユニット(冗長)	
14	サーバ保守	センドバック保守(搭載HDD交換含)	
15	その他	Vmware・vSphereにより複数システムを構成	
16		WindowsServer2012R2 搭載済	
17		予備HDD(ケース付)1本添付	

VOTIRO-SDS 搭載済専用サーバ提供条件

- ・VOTIRO-SDS File AE 版を、仮想化技術を活用し、1 Uサイズのサーバに実装しています。
- ・自治体向けの仕様に応じたサーバ実装モデルを提供します。
- ・VOTIRO-SDS File AE タイプを、小規模～中規模も自治体様に導入していただきやすく設計しています。
- ・製品価格には、VOTIRO-SDSソフトウェア、専用サーバ、ソフトウェア・ハードウェア保守の【5年間保守費用】が含まれます。
- ※製品価格については、“導入予定自治体様の情報”を準備の上、お問合せください。(事前情報が無い場合はご案内を控える場合があります)
- ・1 Uサーバで、冗長化された電源、RAID 6 構成された内臓ディスク構成により、安定したシステム運用を実現しています。
- ・既存のファイルサーバと連携設定を実施するだけで、短期間でのVOTIRO-SDS製品の導入が可能になります。
- ・VOTIRO-SDS 製品導入のための新たなシステム設計と実装、動作検証を大幅に削減できるためコストを抑えた導入が可能になります。
- ・VOTIRO-SDS 搭載済サーバモデル製品は、販売代理店を通じてご提供します。
- ・製品は、ご注文をいただき、ライセンス発行用の情報が揃った状態から、約4週間後のご納品が目安となります。

株式会社名、関連ロゴ、VOTIRO-SDS は、株式会社アズエージェント(VOTIRO社)の商標または登録商標です。本製品が搭載する、VOTIRO-SDS ソフトウェアは、株式会社アズエージェントから提供される正規製品となります。また、VOTIRO-SDS 製品に関する詳細な機能や仕様については、開発元の情報をご確認いただくか、ご案内の代理店にお問合せください。

※本製品に関する 外観、仕様、価格などは、2016年11月1日現在となります。予告なく変更となる場合があります。本資料内に記載される製品名や仕様、及び、数値などは製品開発元から提供された時点の情報となります。そのため最新の情報と異なる場合があります。最新の情報については、製品開発元の情報をご確認ください。また、資料に掲載している企業名や団体名、及び製品・サービス名は、内容の説明のため使用しており、正に登録されている各種権利などを侵害する目的は一切ありません。

企画・販売元



SWAT Brains

スワットブレインズ株式会社

ソリューション営業部

京都市中京区烏丸通二条上ル時絵屋町267

TEL 075-211-9480(代) FAX 075-211-9481

E-MAIL sales@swatbrains.co.jp

URL <http://www.swatbrains.co.jp/>

20161101-00-00

本製品のお問合せは、